



福岡県

TAGAWA CITY

田川市

炭坑節のふるさと



はじめに

田川市は、福岡県北東部に位置し、南には英彦山、北に福智連山、東には香春岳を望む三方を山に囲まれた緑豊かな地域です。

古代から信仰と文化の交流地帯として栄え、明治中期からは、日本有数の産炭地としてクローズアップされました。

仕事を求めて全国から多くの移住者が訪れ、炭坑のまち・田川は炭都として大きく発展してこまわりました。

市内の炭坑がすべて閉山した今は、炭坑の歴史や文化を活かした観光振興を進めています。



石炭記念公園の昭和25年頃の様子  
撮影：橋本正勝氏



# 炭坑節発祥の地 田川市

「月が出た出た月が出た〜」でおなじみの「炭坑節」は、田川市が発祥です。

今や海外でも「コールマイソング」として親しまれ、多くの人々に愛されています。

炭坑節は、田川の炭坑で選炭作業に従事する選炭婦達が歌った選炭唄が起源と言われており、炭都田川の発展に伴い、その仕事唄が宴席に持ち込まれ、やがて花柳界で洗練されつつ歌われるようになっていきました。大正から昭和初期にかけて、筑豊の炭坑主たちが博多・小倉などの料亭で豪遊したこともあつて、宴席では欠かせない唄となり、やがてラジオを通じて全国的にも知られるようになりました。

石炭記念公園には、「炭坑節発祥の地」を示すモニュメントなどを設置し、来園者へ炭坑節の歴史を伝えています。



炭坑節発祥の地の碑



毎日炭坑節が流れる炭坑節を解説する看板



炭坑節まつり

## “石炭記念公園”

かつて日本最大の出炭量を誇った「筑豊炭田」において、最大級の炭鉱であった三井田川鉱業所伊田坑は、現在、都市公園である石炭記念公園となっています。

公園には、炭都田川のシンボリック存在であり、貴重な炭鉱遺産である旧三井田川鉱業所伊田坑第一・第二煙突と同伊田坑第一（通称二本煙突と竪坑櫓）があり、建造から110年もの間、荘厳な姿で田川のまちを見守り続け、



二本煙突と月

今もなお市民の誇りとなっています。これらの遺産は、その景観の美しさから2006年（平成18年）1月、「第18回福岡県美しいまちづくり景観賞・大賞」を受賞し、さらに、2007年（平成19年）10月、国の登録有形文化財となり、同年11月、経済産業省の「近代化産業遺産群33」の構成遺産に認定されました。

さらに、2018年（平成30年）10月、公園内の三井田川鉱業所伊田坑跡は、「筑豊炭田遺跡群」の一つとして国指定史跡になりました。

また、「あんまり煙突が高いので、さぞやお月さん、煙たかろ」と炭坑節にも歌われた煙突がこの二本煙突であり、公園では、毎年、「TAGAWAコールマイン・フェスティバル〜炭坑節まつり〜」が盛大に開催されています。

## “ユネスコ世界の記憶・山本作兵衛コレクション”

炭坑の歴史を今に伝える代表的なものに、「山本作兵衛コレクション」があります。

2011年（平成23年）5月、日本で初めてユネスコ「世界の記憶」に登録されました。

コレクションは、田川市が所蔵・展示し、福岡県立大学が保管する697点の記録画や記録文書等で構成されています。

これらの資料は、山本作兵衛翁が、日本の近代化を支え、急激な産業革命により大きな発展を遂げる筑豊炭田について、自らの炭坑労働の経験に基づき、そこで働く労働者の生活を文章と素朴な絵で記録したものです。



山本作兵衛翁

登録資料の内訳は、田川市所有分（田川市石炭・歴史博物館保管）の炭坑記録画（585点）、日記（6点）、雑記帳及び原稿等（36点）、及び福岡県立大学保管分（所有は山本家）の絵画（4点）、日記（59点）、雑記帳や原稿等（7点）です。



山本作兵衛コレクション・炭坑記録画  
©Yamamoto Family



山本作兵衛コレクション展示室

# “田川市石炭・歴史博物館”

全国でも珍しい「石炭」を冠にした博物館です。国内初のユネスコ「世界の記憶」として登録された「山本作兵衛コレクション」のほか、ジオラマや復元炭坑住宅などで石炭産業や坑内作業、生活の移り変わりなどを展示しています。また、田川地方の歴史・考古・民俗資料なども見ることが出来ます。



石炭・歴史博物館外観



炭坑記録画をモチーフにした博多人形



石炭・歴史博物館展示室

## 施設情報

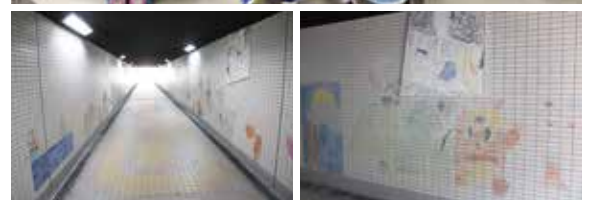
### ◆ 田川市石炭・歴史博物館

住所 / 田川市大字伊田2734番地1(石炭記念公園内)  
 電話 / 0947-44-5745  
 営業時間 / 9時30分～17時30分(入館は17時まで)  
 休日 / 月曜日 ※月曜日が休日の場合は連休終了日の翌日、年末年始(12/29～1/3)  
 入館料 / 一般400円/高校生100円/小中学生50円  
 (※団体割引有り)  
 駐車場 / 有(20台程度・無料) ※大型バス可

# “炭坑アート事業”

田川市では、炭坑や日本初のユネスコ「世界の記憶」である山本作兵衛コレクションを活用して市の玄関口である駅周辺の賑わいを創出する「たがわ炭坑アート」おしちゃんおばちゃんたちのアート革命「事業を宝くじの助成金を活用して実施しています。

今年度は、有名なイラストレーターである黒田征太郎さんの協力を得て、黒田さんと子ども達が一緒に駅連絡通路トンネルに絵を描いたり、炭坑にちなんだ愛称が付けられた通り(愛称:炭都ミュージアムロード)にフラッグを設置しました。



「炭都ミュージアムロード」に設置されたフラッグ



「せきたん君」の横に設置されたプレート



黒田さんがデザインしたモニュメント「せきたん君」

黒田さんと子ども達が絵を描いたトンネル

# “受け継がれる伝統～まつり～”

## 1 風治八幡宮 川渡り神幸祭 (福岡県指定無形民俗文化財)

年に1度、風治八幡宮の神様が彦山川対岸のお旅所まで1泊2日の旅をするお祭りです。2基の神輿と色とりどりに飾られた11基の山笠が川の中で競演する姿はダイナミックです。

開催日：5月第3土曜日とその翌日の日曜日

場所：風治八幡宮から彦山川及びその周辺(田川市魚町付近)



川渡り神幸祭

「獅子が舞わねば神輿は動かず」といわれ、各所で獅子舞が奉納されます。

## 2 春日神社 岩戸神楽 (国指定重要無形民俗文化財)

豊前地区に伝わる神楽のひとつで、春日神社岩戸神楽を含む「豊前神楽」は国の重要無形民俗文化財に指定されています。5月の神幸祭、7月の夏越祭、10月の神待祭の年3回奉納されます。



獅子舞



岩戸神楽

# “ジビエ猪之国”

野生のイノシシやシカなどの獣が、貴重な農作物を食い荒らす「獣害」によって、農業が盛んな地区を中心に被害が拡大しています。そこで、「ピンチはチャンス」と、元凶の有害鳥獣を捕えて被害を抑制し、ジビエ(狩猟肉)としてブランド化する画期的な取組を開始しました。

市が「田川市ジビエ食品加工施設」を整備し、狩猟などに携わる地元の有志6人で組織した管理組合「ジビエ猪之国」(代表 市村榮二さん)が運営を担い、イノシシやシカの洗浄・内臓処理・加工包装などができる設備を駆使して食肉を生産しています。



「ジビエ猪之国」外観

国道322号沿いの老舗うどん店の名物カレー。新鮮なジビエ肉を3日間じっくり煮込み、味わい深さはクセになりそう。



ジビエカレー



ジビエドッグフード

### 施設情報

#### ◆ ジビエ食品加工管理組合 ジビエ猪之国

住所 / 田川市大字猪国772-1  
電話 / 070-1944-6004  
URL / <http://gibier-i.com>